

参院でも自公少数に、共産貢献

新潟選挙区は打越さん当選

異常な物価高、原発推進、医療再編などで国民の命と暮らしが脅かされているなか、日本共産党は自公勢力を参院選でも少数派に追い込み、国政の流れを変えようと奮闘しました。

その結果、選挙全体としては、自公勢力を昨年の衆院選に続いて、参院選でも少数に追い込んだことは、日本政治にとって大きな前向きの変化です。今後、石破政権は継続したとしても野党との協議、一定の合意なしに政権運営ができなくなりました。

新潟選挙区では、市民と野党の共闘の新たな発展をめざして日本共産党が自主支援した打越さくらさんが当選しました。これは、自公勢力への審判を下すうえでの大きな貢献となっただけでなく、柏崎刈羽原発の再稼働にストップをかけるうえでも大きな力とも

なりました。

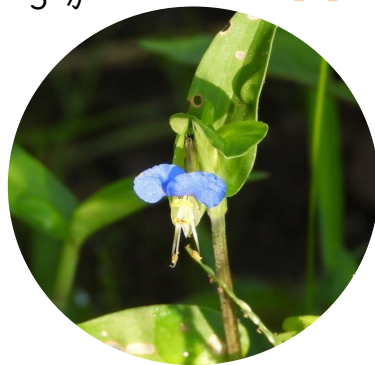
ただ、残念だったのは日本共産党が比例で後退したことです。比例では5議席獲得を目標にたたかいましたが、286万4千票の得票にとどまり、改選4議席から2議席への後退となりました。また選挙区選挙では、東京選挙区で吉良よし子候補の3選を果たしたものの、京都、埼玉で現職議席を失う結果となりました。

日本共産党中央委員会常任幹部会は21日、「日本共産党の結果は、大変に悔しく残念な結果です。日本共産党をご支持いただいた有権者のみなさん、猛暑のなか大奮闘された支持者、後援会員、サポーター、党員のみなさんに心からの感謝を申し上げます。ご期待にこたえる結果を出せなかったことについて、お詫びを申し上げます」との声明を発表しました。

「被爆ピアノ」の演奏

21日の卯の花音楽祭で「被爆ピアノ」が紹介され、それを使った演奏が行われました。

最初に「被爆ピアノ」管理者の矢川光則さんがスピーチされました。矢川さんは、「核兵器はありとあらゆるものを破壊する。自分のできる平和運動ということで、(被爆ピアノ)による演奏を」2001年から始めた。北海道の稚内から沖縄まですべての都道府県をまわった。海外でもニューヨークやノルウエーなどに行っている。2017年からはノルウエーの首都オスロで取り組まれているノーベル平和コン



【ツククサ】ツククサ科の一年生植物。高さは50センチほど。漢字で「露草」と書きます。身近な道端や畑などで咲いています。空梅雨だったせいか、今年はあまり見かけません。花期は6月から9月頃。蝶形の独特の青い花を咲かせています。花は半日花で、朝に咲いても午後にはしぼみます。花言葉は「秘かな恋」「尊敬」など。吉川区小苗代にて23日、撮影しました。



サートにて使われていて、全世界にヒロシマの心を伝えている。このピアノにはいくつかのキズがあるが、当時のことを伝えるために修繕は最低限にしている。ピアノ線は2本だけ変えたが、あとはそのままだ。いまのピアノと音は質が違うが、改めて平和の尊さを感じていただければと思っている」とのべられました。

「被爆ピアノ」を使った演奏では、ソプラノ歌手の平原和泉さんが、『夏は来ぬ』『一本の鉛筆』『いのちの歌』などを歌いました。美しく、迫力満点の歌声でした。

県病院局、大島区でも説明会開催へ



県病院局は松代病院の入院機能中止について、8月1日の18時から大島地区公民館で説明会を開催します。参加し、入院機能継続の働きかけをしましょう。



猛暑のなか、親鳥にエサをねだるヒナ。この時期、ヒナはエサから水分をとります。23日、三和にて撮影。

はしづめ法一の活動レポート

No.2213 2025.7.27

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznysg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」は ← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八六〇回

背中流し

一つだけ恩返しできました。相手は私の連れ合いの兄、柏崎市に住んでいます。

先日、地元で活動していたら、連れ合いから柏崎の兄（義兄）が吉川にやってくるという話を聞きました。

理由を聞くと、柏崎の兄は温泉に入るために来るとのことでした。それもひとり……。柏崎には連れ合いの姉夫婦も住んでいるので、一緒に来るのかと思ったら、姉夫婦は都合でこれないというのです。

柏崎の兄は今春、二回も手術をしているので、もしものことがあれば大変だと思い、連れ合いと一緒に私も温泉に行くことにしました。温泉といっても、近くの長峰温泉ゆつたりの郷です。私にとっては、何かと忙しい時期でしたので、近くに温泉があることで助かりました。

柏崎の兄は軽乗用車でわが家にやってきました。通常、柏崎から吉川まで三十分くらいかかりますが、やはり、これだけ運転すると疲れるのでしよう。すぐ温泉には入らずに、少し横になりたいと言いました。それで休憩所となっている大広間で少し休んでもらうことにしました。

この日は平日でしたので大広間は空いていて、どこでもゆつたりと休めました。どこにしようかと広間をぐるりと見渡したら、私と同じ町内の方もおられました。柏崎の兄はステージに近いテーブルのそばで横になって休みました。

柏崎の兄が休んでいる間、私が先に風呂に入るわけにはいきません。施設に入るとき、ゆつたりの郷の屋内グートボール場内を知っている人の姿が見えたので、そこで競技を見学することにしました。

競技をやっている人たちのほとんどは私の知り合いです。リーダーのNさんやMさんなどとおしゃべりを楽しみました。このうちNさんは元牛飼いの仲間です。Nさんからは、「たまにはグートボールのこと、

『春よ来い』に書いてくれや。書くこと、いっぱいあるよ」と言われました。その言葉が聞こえたのでしよう、Mさんが「いつも日曜日、楽しみです。記事は切り取って大事にしてるんです」と声をかけてくださいました。ありがたいことです。

さて、柏崎の兄ですが、三〇分ほど眠ったようです。横になって少し楽になったのでしよう。お風呂に向かう姿は元氣そうでした。脱衣所で、裸になった姿を見たら、手術の跡ははっきりとわかりましたが、思っていたほど痩せてはいませんでした。体重も病院を出た時とほとんど変わらないとのことでした。

風呂場に入るとき、私は心に決めていたことがありました。柏崎の兄の背中を流すことです。長年、自動車関連会社で働き、退職後は実家で田んぼ仕事に精を出し、私の活動も暖かく見守ってくれた義兄です。感謝の印として、せめて、背中を流したい、そう思っていました。

洗い場ですぐそばにいた私から、「背中流すよ」と言うと、柏崎の兄は最初遠慮していました。が、「じゃあ、やってもらうか」とタオルを渡してくれました。まずは首の周り、続いて背中全体を上の方から下の方へとゴシゴシやりました。ほんの二、三分ですが、真ん中の背骨の部分は特に丁寧にこすりました。

義兄の反応は上々でした。「いやー、いいもんだね。特に背中が」といって、気持ちよかった」と言ってもらえたのです。い

うまでもなく私もホッとしました。背中流しの大切さは、子どもの頃、祖父・音治郎を通じて知りました。祖父は孫から背中を流してもらうことに大きな喜びを感じていました。柏崎の兄はこの日、元氣に家に帰っていきましたが、再び、温泉に行こうと誘いがあつたら、もちろん一緒に出かけ、背中を流します。

消火栓の有効活用で講演とシンポジウム

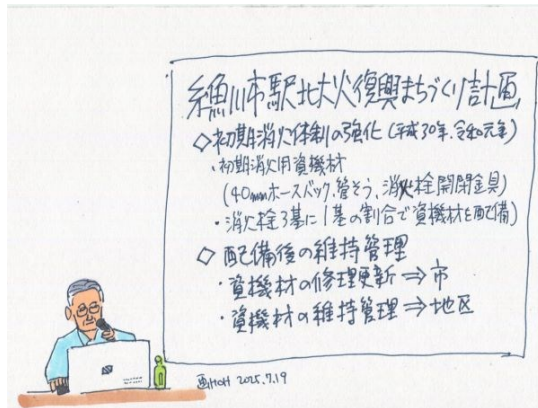
「消火栓の有効活用を進める会」主催の講演とシンポジウムが19日、吉川コミュニティプラザのホールで行われました。40人ほどの参加でした。

メインの1つは講演です。講師は糸魚川市消防署の能生分署長さん。糸魚川市での消火栓活用についてのこれまでの経過、日ごろの訓練、今後の課題などを語っていただきました。糸魚川大火後、40ミリホースなどを整備し、消火栓による初期消火体制をこれまでよりも強化した話はとても興味深く聴かせていただきました。女性も子どもも使える消火栓活用が進んでいるなと思いました。

シンポでは原文町町内会長の薄波さんが、「市が動かなければ、町内会でポンプなどを整備する、防火服が必須となればそれも購入してでも対策をとりたい」とのべ、参加者に感動を与えました。また、大乗寺の関沢義男さんがかつての大乗寺での火災対応を生々

しく語り、注目されました。

消火栓を活用した初期消火の推進は3月議会で八木副市長が検討を約束していますが、速やかに検討し、その結果を明らかにしてほしいものです。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月15日(火)	7月23日(水)
上越消防署	0.050	0.053
上越南消防署	0.040	0.040
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.067	0.057
東頸消防署	0.057	0.053
名立分遣所	0.060	0.057
高士分遣所	0.053	0.050